

平成22年7月23日

平成22年度「離島の活力再生支援事業」の選定結果（概要）

○選定された応募団体名、案件名（概要）

応募団体名（対象離島名）、案件名	概要
特定非営利活動法人パートナーシップオフィス（山形県飛島） 「山形飛島『“しまの家”による活力再生事業』」	<u>教育機関を介した島と陸域都市の循環システム構築</u> 島民がより豊かに住み続けるための場、交流人口が増えるための仕掛けとして、空き民家などを活用した交流・共創拠点「しまの家」の長期開設（常設化）を行う。対岸の大学（東北公益文科大学）・NPO等との連携でコミュニティの欠損機能を埋める先導的事業。
特定非営利活動法人いえしま（兵庫県家島） 「新たな特産品供給システムを通じた漁村・都市交流の島づくり事業」	<u>特産品供給を介した島と都市の連携システム構築</u> 特産品供給の新たな仕組みを通じて、都市部における「家島ファン」が増え、ファンとの関係性を構築することで島内外の人々による『豊かな交流が生まれる島』への端緒をつかんだ昨年度成果等を活かし、地域の持続的な漁業や観光のシステムを確立する。
株式会社しまの会社（愛媛県弓削島） 「“しまLABO”～しま学連携プラットフォームの形成」	<u>産学官民連携による島々の地域課題解決の仕組づくり</u> 地元商船高専の共同参画のもと、地域（人・資源）と地域の研究・教育機関が連携することで、地域の課題を解決していくタスクフォースモデル（“しま学連携”モデル）を組立て、他地域へ展開・連携していくプラットフォームの形成を図る。
一般社団法人へきんこの会（鹿児島県口永良部島） 「島なび学生隊 ～150人の島から創造する日本と若者の未来～」	<u>離島と大学生との連携による地域活性化の仕組づくり</u> 島民と全国の大学生が連携して「島なび学生隊」を組織し、農業・漁業・観光等の研修や生活を共にし、情報を発信することにより、島民及び学生の成長（人材育成）と島の活性化の糸口を探る。小離島活性化に向けた自立的な仕組づくりの先導的事業。
新大島紬プロジェクト実現委員会、奄美群島広域事務組合（鹿児島県奄美群島） 「地域自らが考え実現する地場産業の再生～新大島紬プロジェクト～」	<u>産地主導の地場産業再生にかかるビジョンと戦略づくり</u> 大島紬の伝統と技術の価値を継承しつつ、従来の大島紬の枠を超えた消費者が求める「新大島紬」の創出を産地主導により進める。製造業者の意識改革やプロジェクト賛同者の拡充及び消費者ニーズにあった商品開発と基盤となる技術開発を進めながら、新大島紬ビジョンと戦略策定を行う。

○お問い合わせ先

国土交通省都市・地域整備局離島振興課 阿達、仲野

TEL：(03) 5253-8111（内線 33-114） 直通 (03) 5253-8421 FAX：(03) 5253-1594